

平成29年7月

平成29年	4月	～	6月期	実 績
平成29年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・I とは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

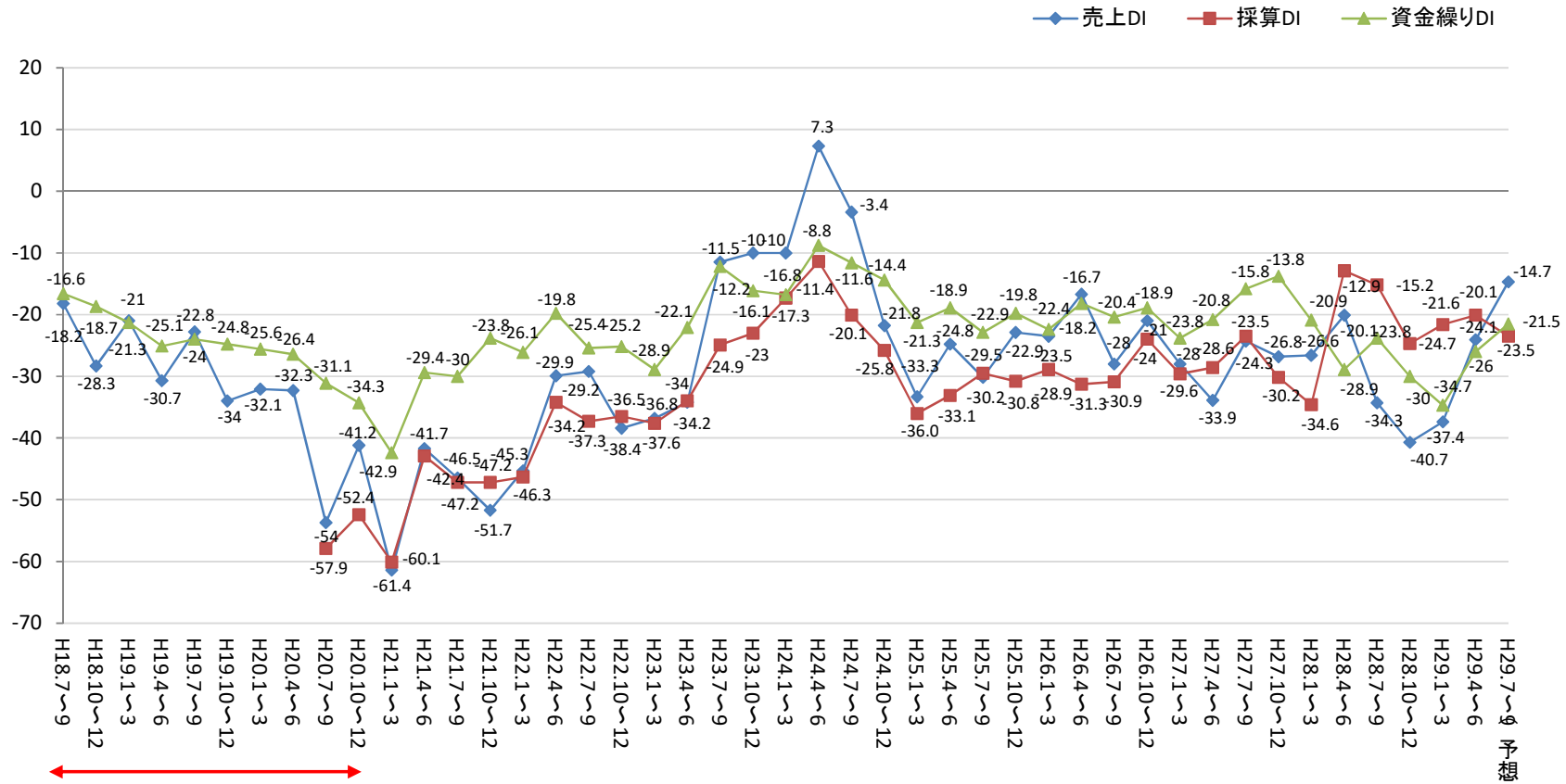
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、 $D・I = 50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き 一前年同期比一



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成27年 7～9月	10～12月	平成28年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成29年 1～3月	4～6月	(見通し) 7～9月
製 造 業	 薄 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄 曇
建 設 業	 雨	 曇	 曇	 曇	 晴	 雨	 晴	 曇	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

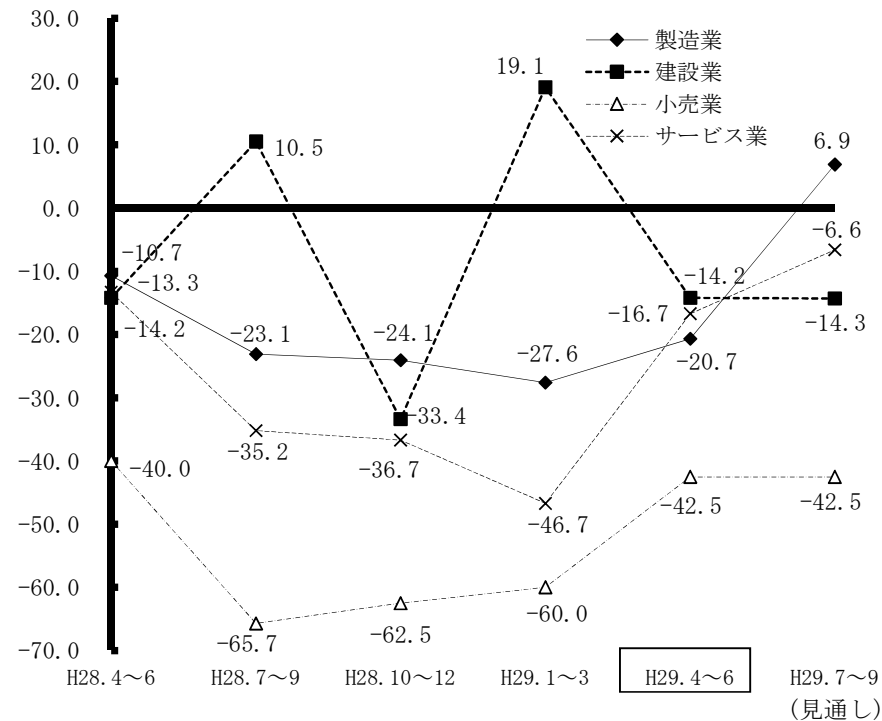
建設業が大幅に悪化

サービス業が大幅に改善

今期は、建設業が、33.3ポイントの大幅な減少となり、△14.2まで悪化しました。

また、製造業においては、6.9ポイント増加の△20.7、サービス業は30ポイント増加して△16.7まで大幅に改善、小売業は17.5ポイント増加して△42.5となり、小売業は3期連続の改善となりました。

来期は、製造業において大幅な増加が予想され、建設業、小売業がほぼ横ばい、サービス業が今期に引き続き増加する見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

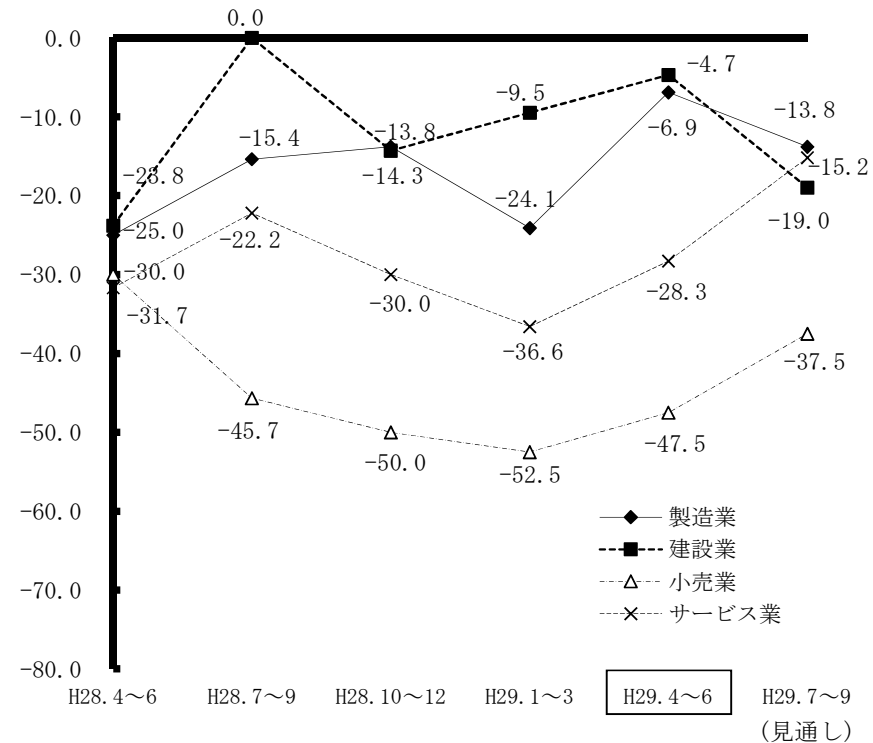
採算

すべての業種において改善

今期は、建設業が4.8ポイント増加して2期連続の改善となりました。製造業が17.2ポイント増加して△6.9、サービス業が8.3ポイント増加の△28.3、小売業も5.0ポイント増加して△47.5まで改善しました。

来期は、サービス業と小売業において引き続き改善が見込まれるものの、建設業、製造業においては悪化に転じる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



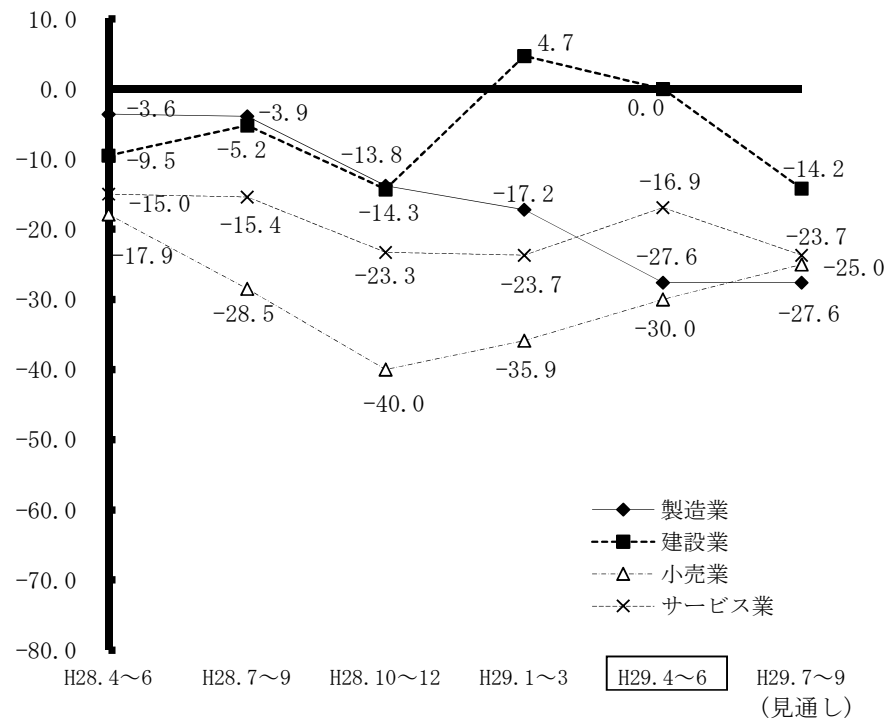
全産業の推移

資金繰り

小売業、サービスが改善
建設業、製造業が悪化

今期は、建設業が4.7ポイント減少して0.0、製造業が10.4ポイント減少の△27.6となり4期連続悪化してマイナス幅が拡大しました。サービス業が6.8ポイント増加して△16.9、小売業が5.9ポイント増加の△30.0まで上昇し、小売業とサービス業において改善しました。

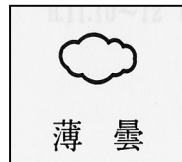
来期は、小売業が今期に続いて改善が見込まれるものの、建設業が大幅な悪化、製造業、サービス業も悪化する見通しとなっています。



製造業の推移

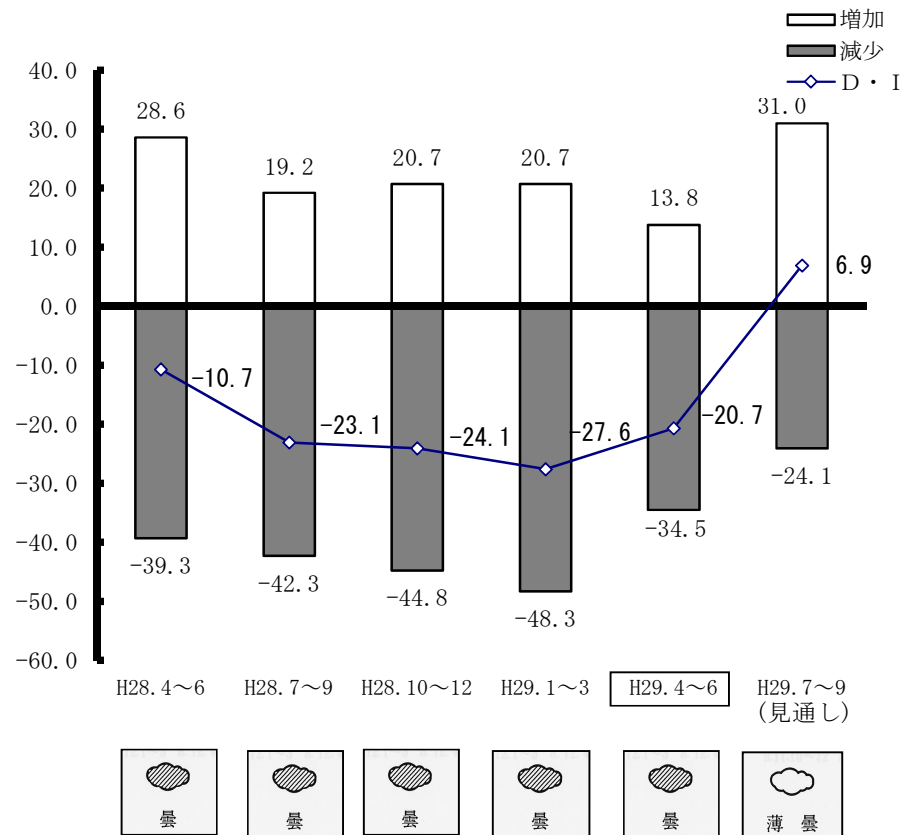
売上高

<今 期> <来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少したものの、売上高減少企業の割合が13.8ポイント減少したことにより、売上高D・Iは6.9ポイント上昇して△20.7まで改善しました。

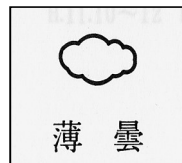
来期は、売上高の増加を予想する企業割合が大幅に増加し、売上高の減少を予想する企業割合も減少するため、売上高D・Iはプラス圏となり、6.9まで改善する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>



薄曇

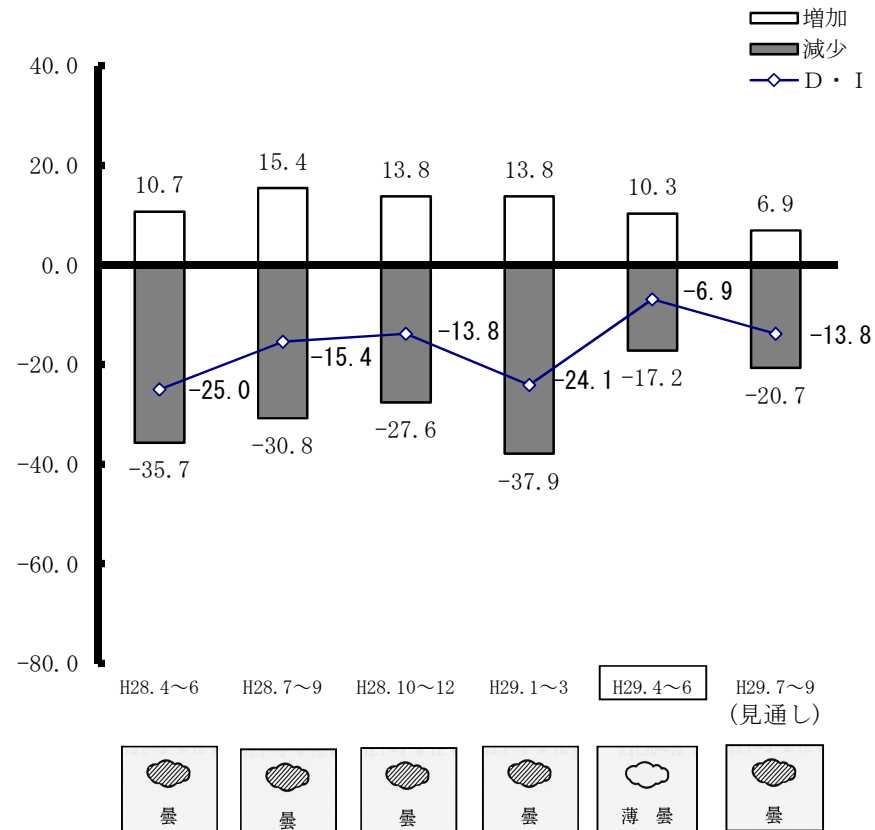
<来期見通し>



曇

今期は、採算が改善した企業の割合は減少したものの、採算が悪化した企業の割合が大幅に減少したことから、採算D・Iは17.2ポイント増加して△6.9まで上昇してマイナス幅が縮小し、景況天気図も曇りから薄曇りへと変化しました。

来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業割合が減少し、採算が悪化すると予想する企業割合が増加することから、採算D・Iは低下してマイナス幅が拡大する見通しです。



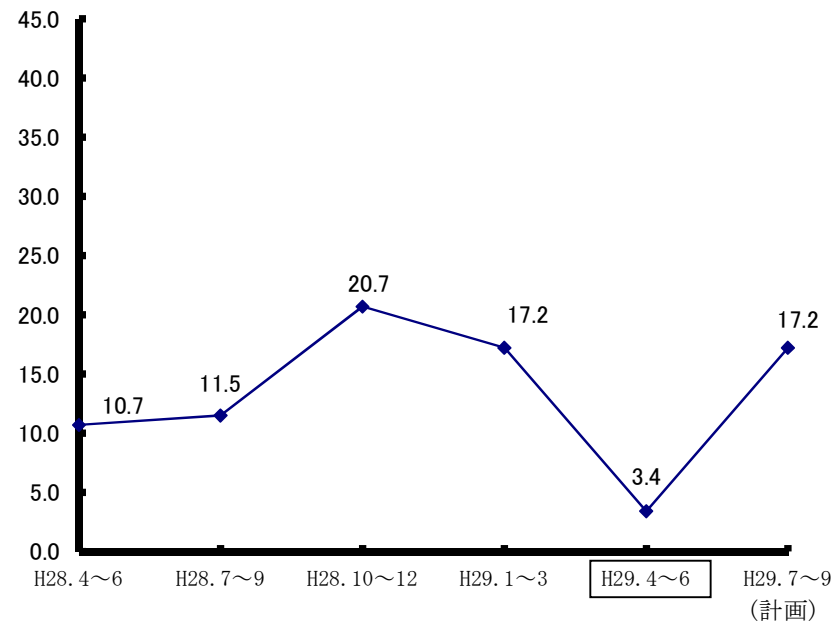
製造業の推移

設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は大幅に減少し、3.4にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業が再び増加に転じ、前期と同様のレベルまで回復する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

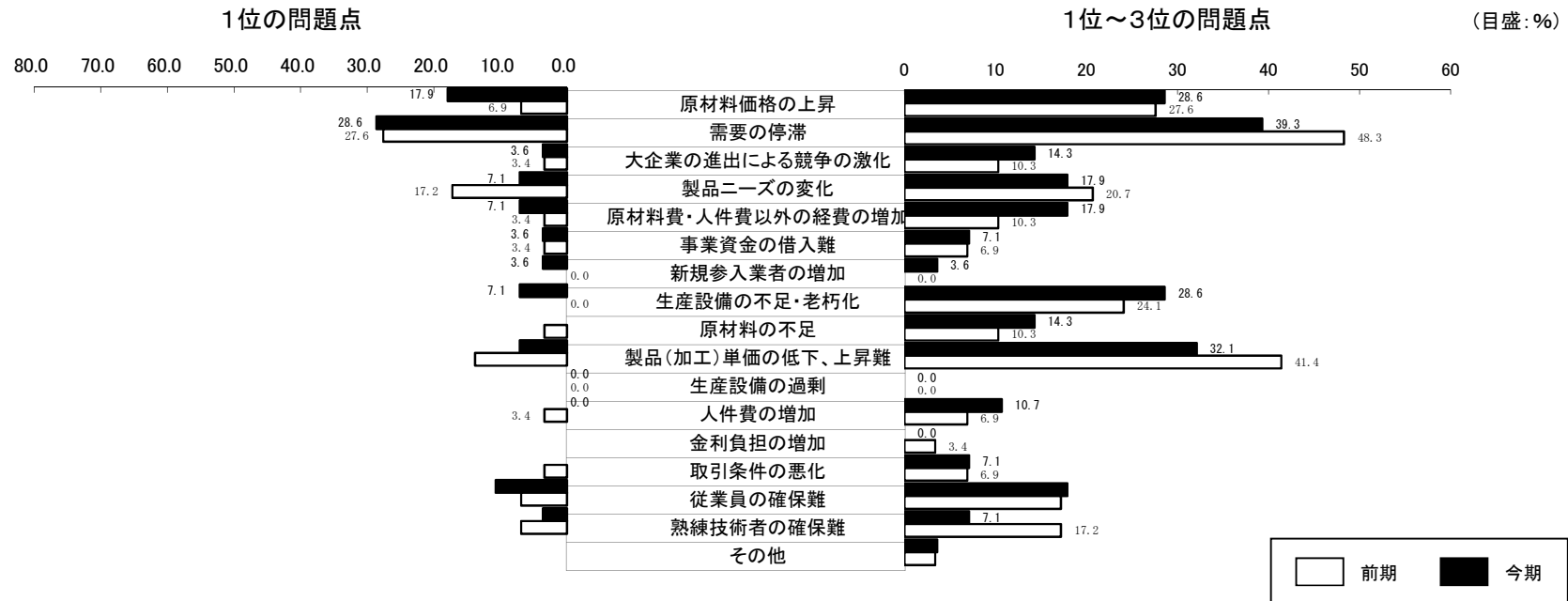


製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>



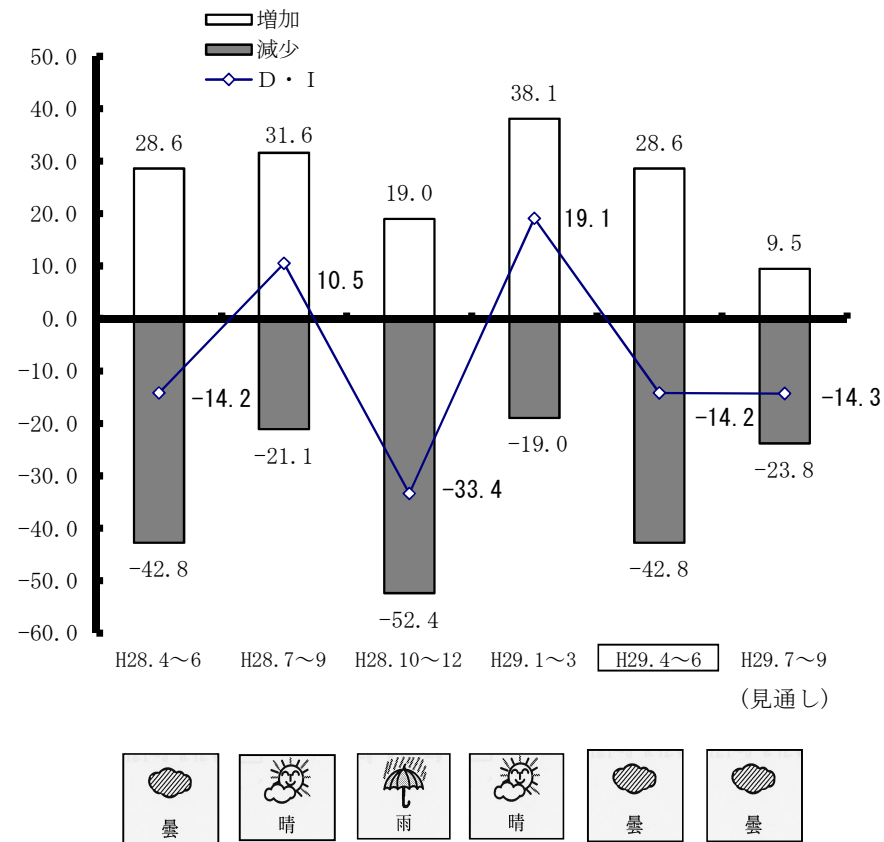
<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合が減少し、また、売上高減少企業の割合が大幅に増加したことから、売上高 D・I は 33.3 ポイント減少の $\Delta 14.2$ となり、マイナス圏の数値となりました。景況天気図も晴から曇りへと変化しています。

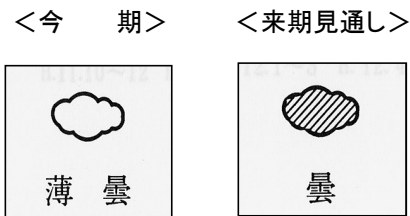
来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が大幅に減少するものの、売上高の減少を予想する企業の割合もともに減少すると予想され、売上高 D・I はほぼ横ばいとなる見通しです。

※建設業の売上高は完成工事高



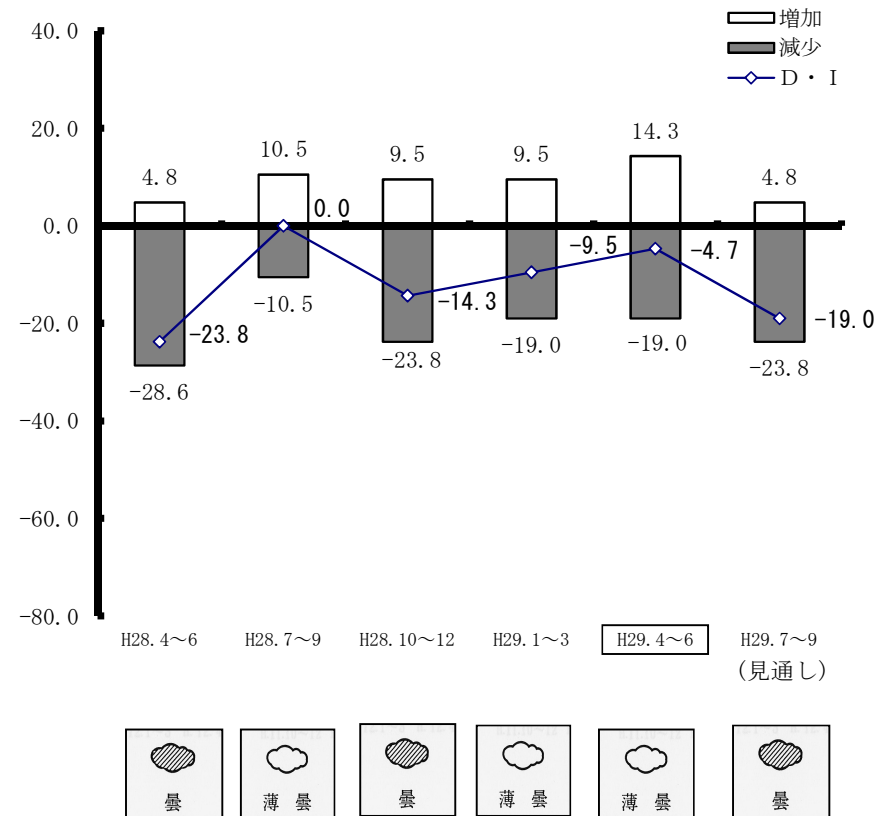
建設業の推移

採算



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業の割合が4.8ポイント増加し、採算が悪化した企業の割合が横ばいであったため、採算D・Iは4.8ポイント増加して△4.7まで改善しました。

来期は、採算好転を予想する企業が減少し、悪化を予想する企業が増加することにより、採算D・Iは、△19.0までマイナス幅が拡大する見通しです。



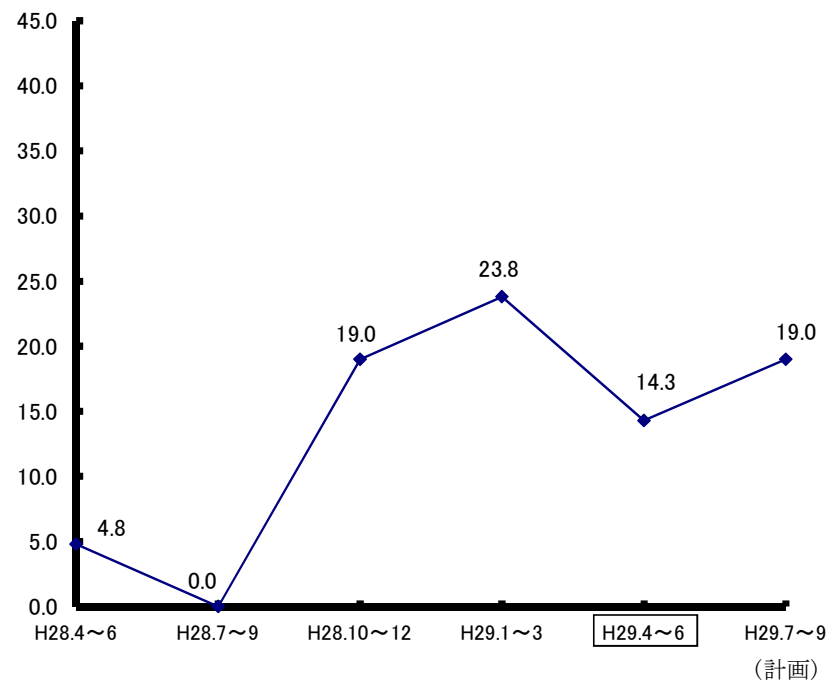
建設業の推移

設備投資

建設業において設備投資を実施した企業は、2期連続して増加しておりましたが、今期は減少に転じ、14.3となりました。

来期は、設備投資を予定する企業が再び増加し、19.0まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

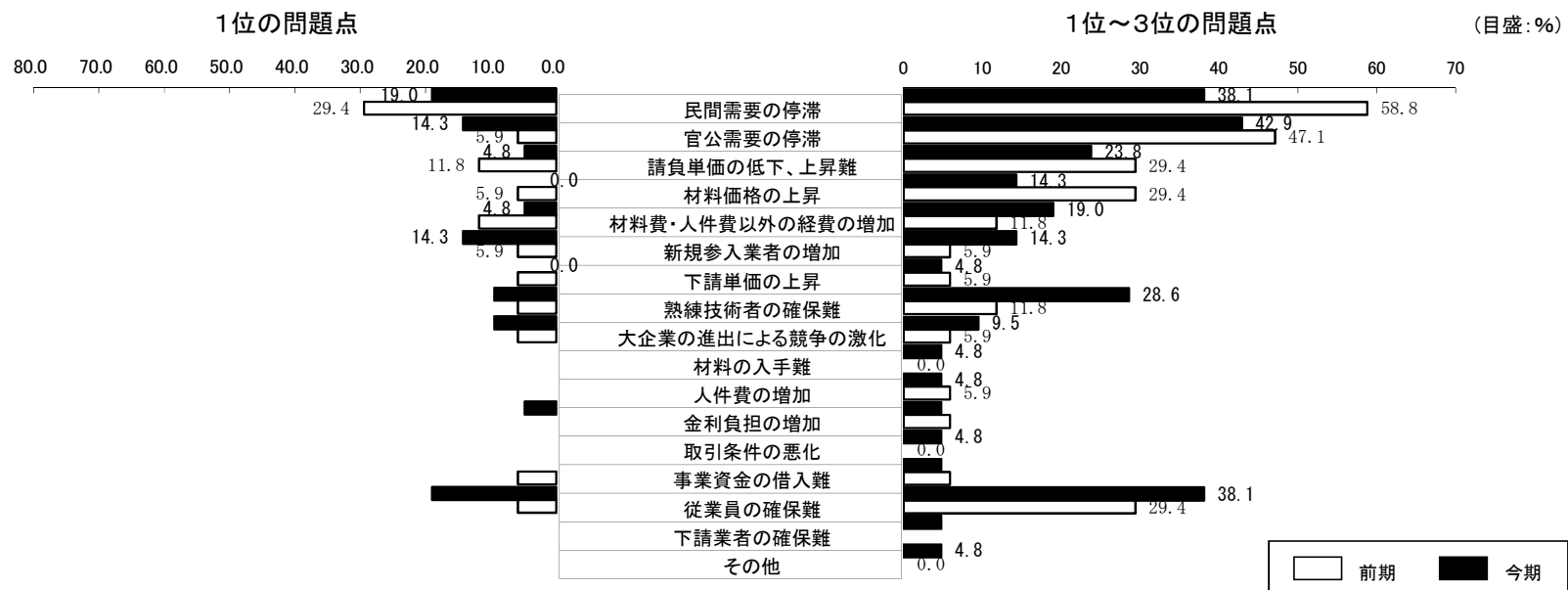


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小売業の推移

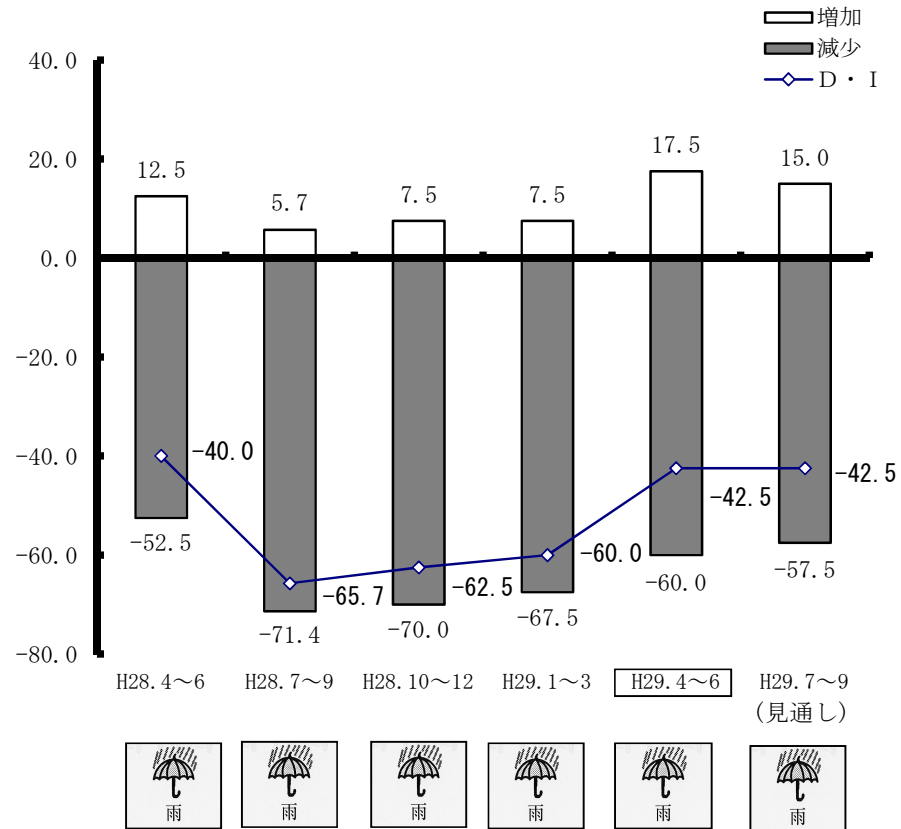
売上高

<今 期> <来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が大幅に増加し、また、売上高減少企業の割合も減少したことにより、売上高D・Iのマイナス幅は大幅に縮小し、△42.5まで改善しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が減少するものの、売上高減少を予想する企業割合も減少するため、売上高D・Iは、横ばいとなる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

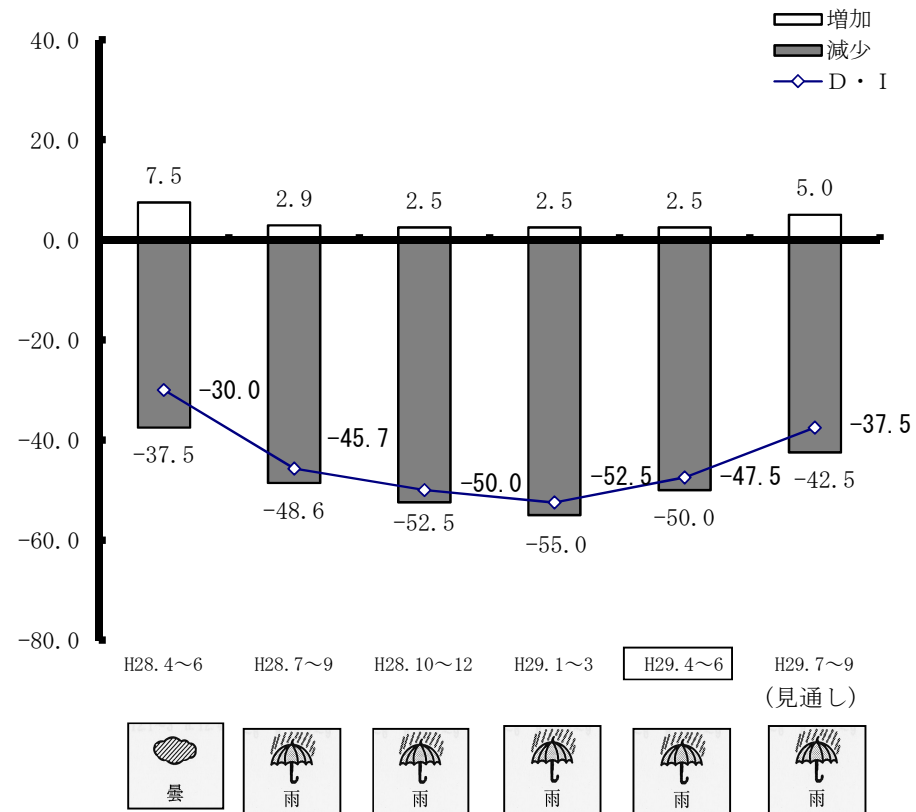


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が横ばいだったものの、採算が悪化した企業の割合が減少したため、採算D・Iは5ポイント増加し、△47.5まで上昇し、マイナス幅は縮小しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合の増加と採算の悪化を予想する企業割合の減少により、引き続きマイナス幅が縮小し、採算D・Iは△37.5まで改善する見通しです。



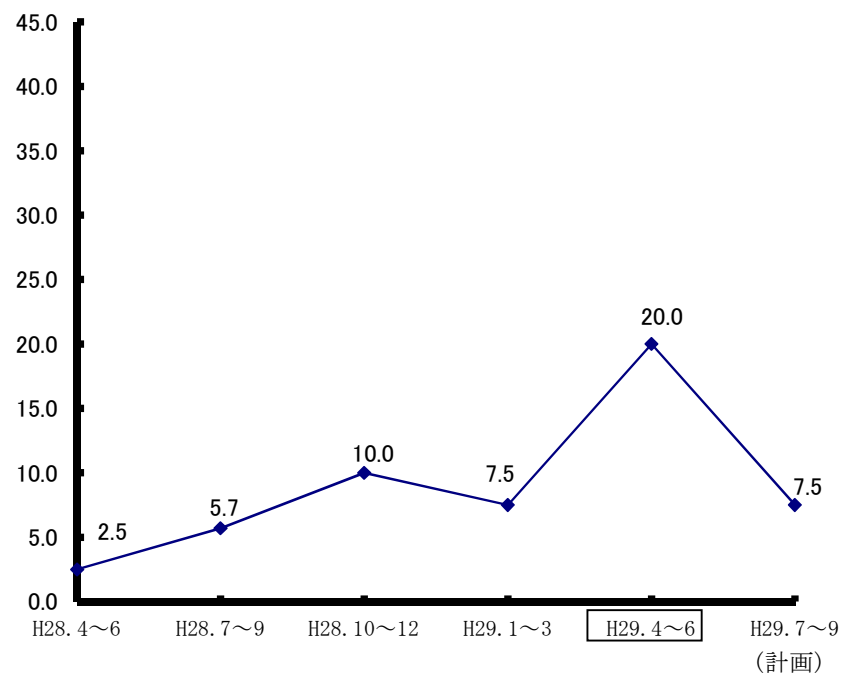
小 売 業 の 推 移

設 備 投 資

今期設備投資を実施した企業は、12.5ポイント増加して20.0となり、直近1年間では最も高い水準となりました。

来期は、設備投資を計画している企業が減少して前期並みの7.5まで低下すると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

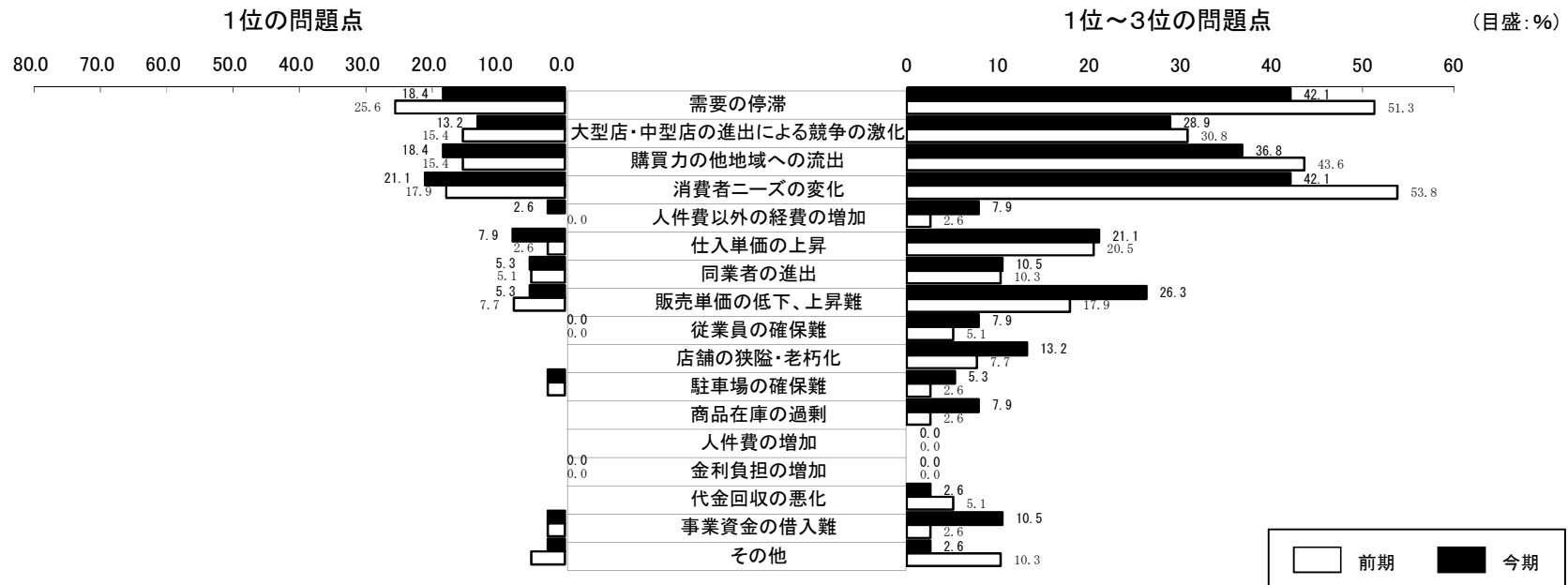


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



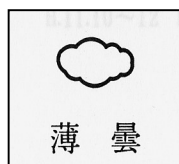
サービス業の推移

売上高

<今 期>

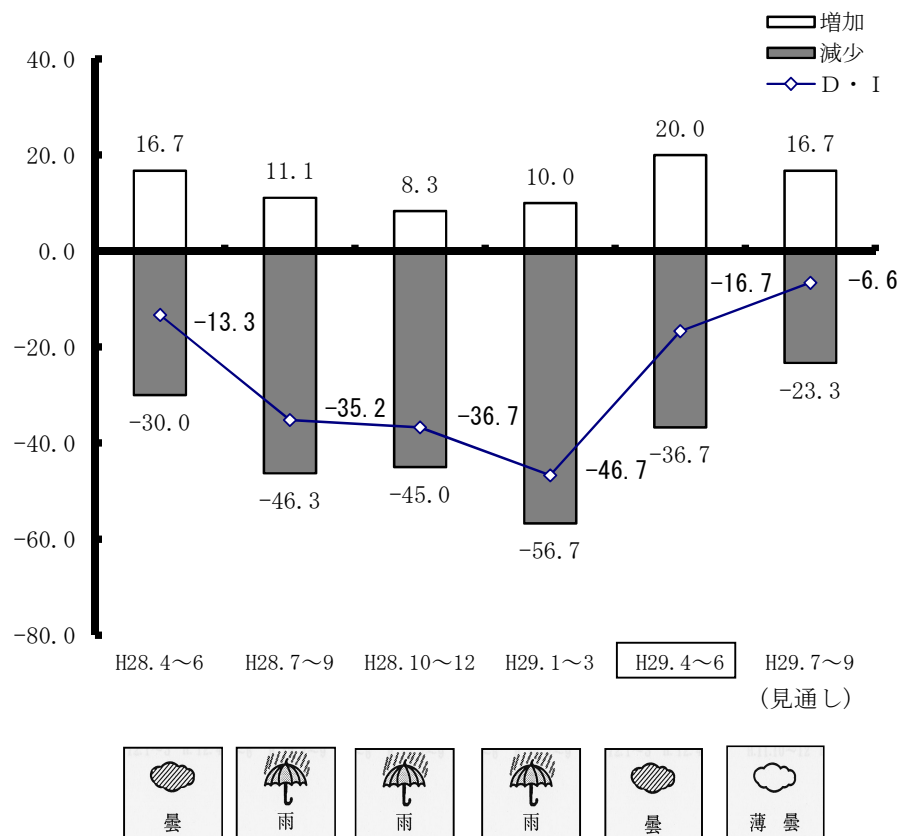


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が10.0ポイント増加し、売上高減少企業の割合も20.0ポイント減少したため、売上高D・Iは30.0ポイント上昇し、△16.7まで大幅に改善しました。景況天気図も雨から薄曇りへと変化しています。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合は減少するものの、売上高減少を予想する企業の割合も減少し、売上高D・Iは△6.6まで改善する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

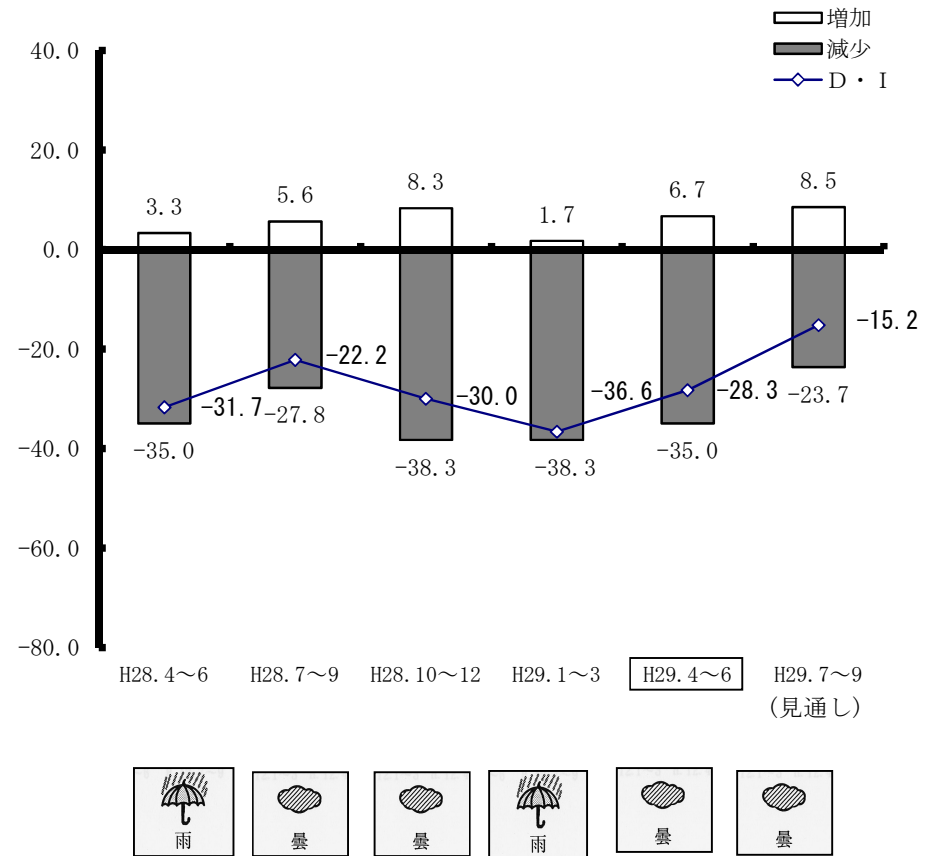


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が5.0ポイント増加し、採算が悪化した企業割合が3.3ポイント減少したことから、採算D・Iは8.3ポイント上昇して△28.3まで改善し、景況天気図も雨から曇りへと変化しました。

来期は、採算の改善を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が減少する見込みで、採算D・Iは△15.2まで上昇し、引き続きマイナス幅を縮小する見通しです。



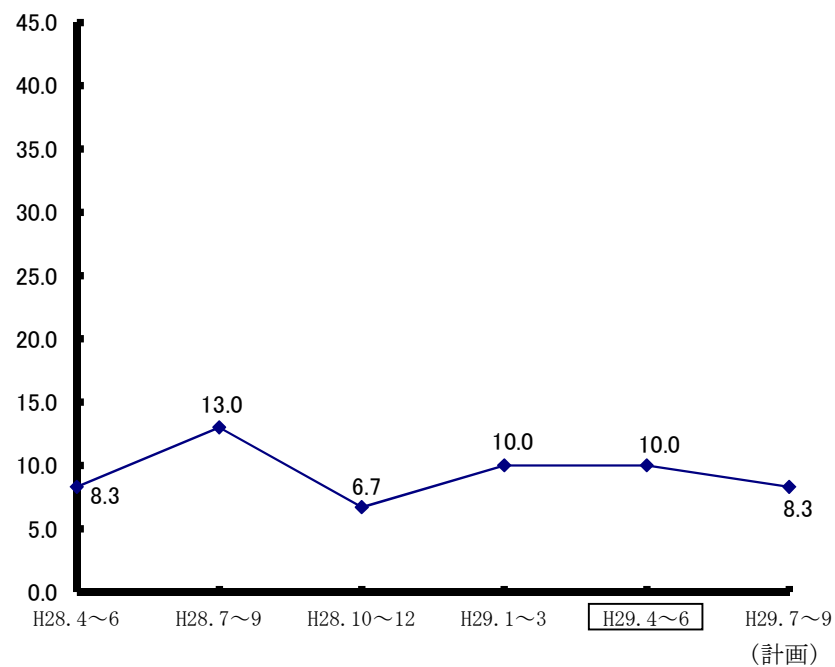
サービス業の推移

設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は前期と変わらず、10.0の水準を維持しております。

来期は、設備投資を実施する企業の減少が予想され、8.3まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

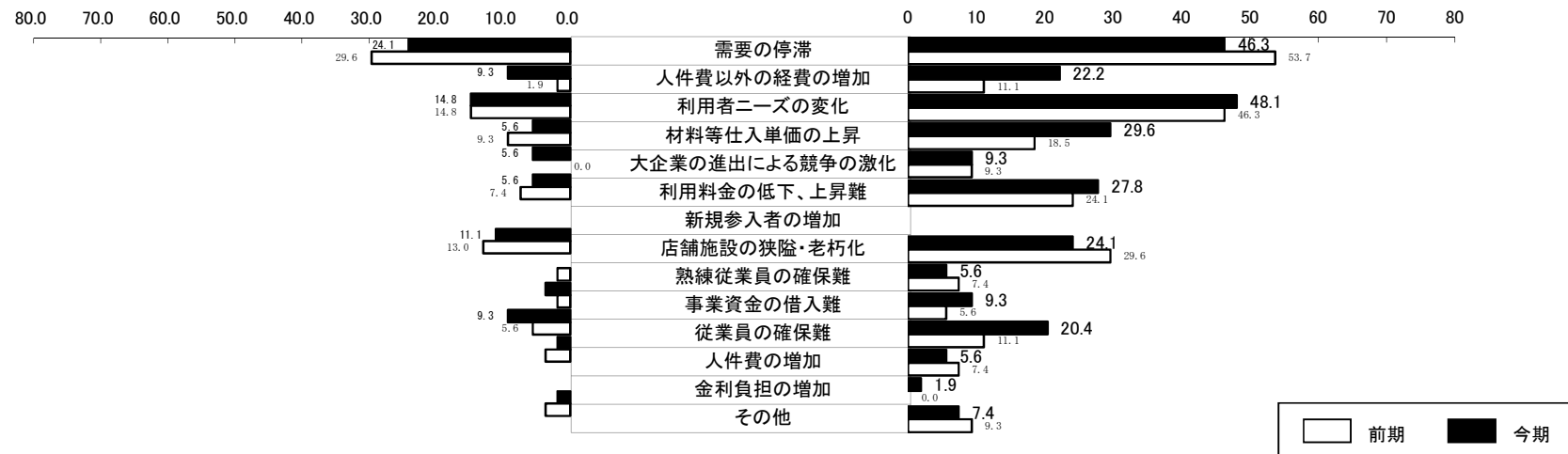
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

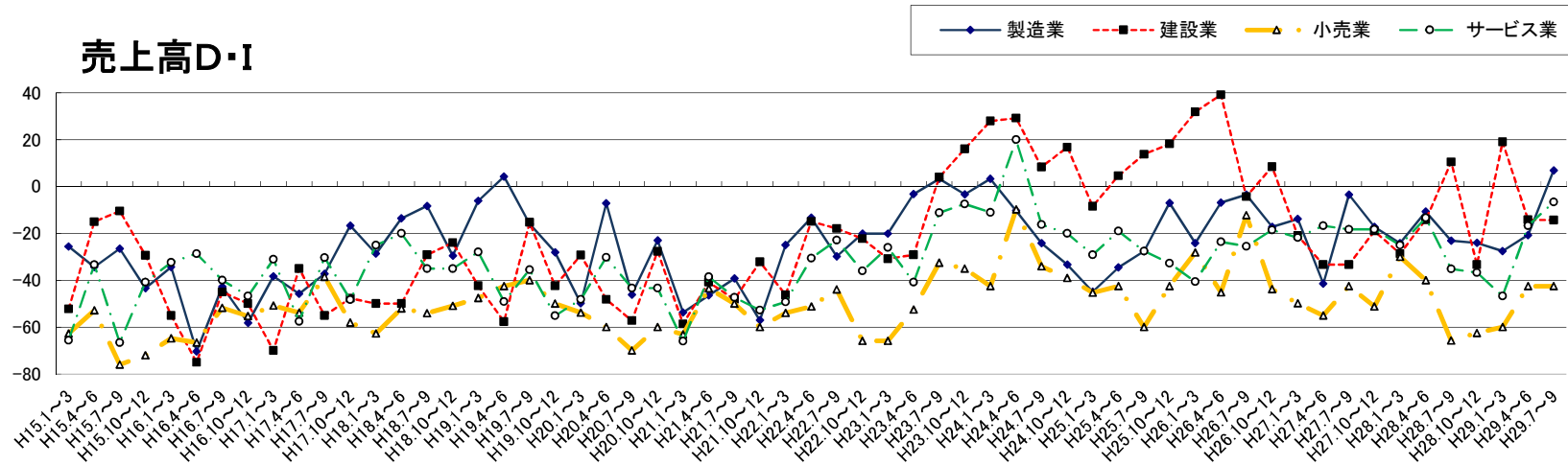
1位～3位の問題点

(目盛: %)

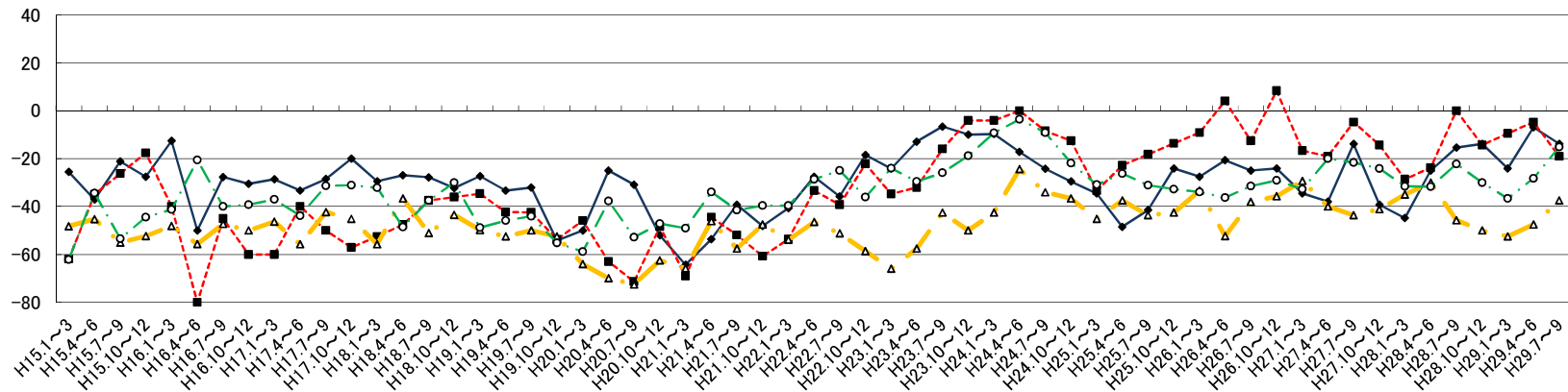


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調查要項

1. 調査対象

(1) 対象地区	県内10商工会地区	遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町 (商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、田野畑村、普代、軽米町
----------	-----------	---

(2) 対象企業数 150 企業

(3) 回答企業数 150 企業

2. 調査対象期間

平成29年4月～6月を対象とし、調査時点は平成29年6月1日としました。

3. 調 査 方 法

- (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
- (2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業（地域産業）	29 （ 19.3 ）	29 （ 19.3 ）	100.0
建設業	21 （ 14.0 ）	21 （ 14.0 ）	100.0
小売業	40 （ 26.7 ）	40 （ 26.7 ）	100.0
サービス業	60 （ 40.0 ）	60 （ 40.0 ）	100.0
	150 （ 100.0 ）	150 （ 100.0 ）	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他

本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。